

ぬ く も り

令和8年度 夏号

■人間ドックのご案内

～地域住民の皆様が健康でいきいきと
過ごせますよう支援いたします～

人生100年時代。健康寿命を延ばし、いきいきとした毎日を送るためには、がんの早期発見や生活習慣病の予防が大切です。

当院健康管理センターでは、人間ドックや健康診断を通じて皆さまの健康づくりをサポートしています。最新の医療機器を備え、病院併設ならではの迅速な治療連携も可能です。快適な受診環境と丁寧でわかりやすい説明を心がけ、健康に関するご相談にも対応しています。



【実施日】月曜日～木曜日

【基本検査】問診、身体計測、血液検査、尿・便検査、心電図、聴力検査、視力・眼底検査、
肺レントゲン検査、胃内視鏡検査、腹部超音波検査、肺機能検査、塩分摂取量測定検査

【申し込み方法】

- ・健診希望日2週間前までに、電話又は病院1階窓口で、お申込みください。
- ・ご不明な点は新館1階健康管理センターまで、お問い合わせください。

【予約受付時間】(月)～(金)8:30～17:00 健康管理センター0478-55-9070



臨床検査ってなんだ??

病気の診断や治療に欠かせない「臨床検査」の裏側

1. 臨床検査は大きく2つに分かれます

臨床検査技師が病院で行う「臨床検査」は、患者さんの体の状態を客観的な数値や波形として捉え、医師の診断や治療方針の決定をサポートする重要な役割を担っています。

大きく分けて「**検体検査**」と「**生理機能検査（生体検査）**」の2つがあります。



検体検査

患者さんから採取した血液、尿、喀痰、組織、細胞、体腔液などの「**検体**」を用いて調べます。

採取された検体は検査室へ運ばれ、私たち**臨床検査技師**が分析を行います。正確な分析結果を迅速に提供するため、日々の※1精度管理やデータの解析を専門的な視点で行っています。



生理機能検査（生体検査）

患者さんの体に直接触れ、機器を用いて体の情報を記録して調べる検査です。

代表的なものに、**超音波（エコー）検査、心電図などの循環器系検査、脳波検査、呼吸機能検査、聴力検査、眼底写真検査**などがあります。患者さんと直接コミュニケーションを取りながら、安全かつ正確に波形や画像を記録します。

※1精度管理：正しく安定した検査値が出るように管理すること

2. 検体を使って調べる：検体検査（血液を使った検査の場合）

「採血された血液は、その後どうなるの？」

採血室や病室などで採取された血液が、どのようにしてデータとなり医師のもとへ届くのか、その裏側のプロセスをご紹介します。

1



採血・管の選択

看護師や技師が採血。検査項目に合わせて、※2抗凝固剤が入った管などを使い分けます。

2



遠心分離

高速回転する**遠心分離機**で血液を「細胞」と「液体（血清・血漿）」に分ける前処理を行います。

3



自動分析

前処理した検体を**自動分析装置**にセット。微量な成分を正確に測定します（約20～40分）。

4



確認・報告

最後に**臨床検査技師**が直接データを確認（異常値のチェック等）。人の目を経て医師へ報告します。

※2抗凝固剤：血液が固まらないようにする薬剤



▲ 生化学・免疫自動分析装置



▲ 自動血球計数装置/血液凝固自動分析装置

当院の血液検査で使用している自動分析装置です。24時間365日検査の依頼に対応出来るよう稼働しています。

3. 直接触れて調べる：生理機能検査



心電図検査

胸や手首・足首に電極をつけ、心臓が動くときに出る微弱な電気信号を波形として記録します。不整脈や狭心症などの発見に欠かせません。ベッドに横になり、力を抜いてリラックスすることが正確な波形をとるコツです。



超音波（エコー）検査

体にゼリーを塗り、超音波を出す機械を当てて、体の中の様子をリアルタイムでモニターに映し出します。肝臓や腎臓、心臓など、様々な臓器の形や動きを調べます。痛みや被ばくがない、体に優しい検査です。



呼吸機能検査

技師の「大きく吸ってー！思い切り吐いてー！」という掛け声に合わせて筒をくわえて呼吸をし、肺活量や息を吐く勢いを調べます。患者さんご自身の「頑張り」が結果を大きく左右する、協力プレーの検査です！



脳波検査

頭皮にたくさんの電極をペーストで貼り付け、脳細胞の微弱な電気活動を波形として記録します。目を閉じたり、深呼吸をして波形の変化を見ます。検査中に眠ってしまっても大丈夫なんです。



▲ 心電図検査の様子



教えて！検査のQ&A

Q なぜ血液検査やエコー検査の前にご飯を抜く必要があるのですか？

A 食事をする、と、血液中の「血糖」や「中性脂肪」等の数値が一時的に大きく変化してしまい、正しい体の状態が測定できなくなるためです。
また、エコー検査では、胃や腸に食べ物や空気が入っていると、その奥にある膵臓などの臓器が隠れて見えにくくなってしまうため、空腹の状態で行う必要があります。

新年度着任医師のご紹介

内科

向井(むかい)昌平



専門分野:消化器内科

趣味:ゲーム

ひと言:2年間別の地域で勤務していましたが、またこちらで働くことになりました。よろしくお願いします

内科

森本(もりもと)涼介



専門分野:内科

趣味:ランニング

ひと言:よろしくお願いします

内科

小林(こばやし)優香理



専門分野:総合内科

趣味:ジグソーパズル・二胡

ひと言:生まれ育った千葉県の医療に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります

内科

一木(いちき)優作



専門分野:内科

趣味:休日の夕方ジョギングをします

ひと言:精一杯頑張りますのでよろしくお願いします

整形外科

陸(るー)伊洋



専門分野:未定

趣味:筋トレ・休日は旅行によく行く

ひと言:1年間香取市の医療を支えられたら幸いです。話しやすい外来診療を目指して頑張ります

外科

牧山(まきやま)展士



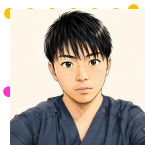
専門分野:外科・消化器外科

趣味:なし

ひと言:宜しくお願いします

整形外科

真秀(ましゅう)俊成



専門分野:整形外科(外傷一般)

趣味:サッカーの動画鑑賞・旅行

ひと言:地域の皆様の健康に貢献できるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いします

